



記者発表資料



令和3年4月8日
千葉市美術館
電話 221-2311
市民局生活文化スポーツ部
文化振興課
電話 245-5261 内線 2521

千葉市美術館企画展「大・タイガー立石展 POP-ART の魔術師」を開催します！ ～和製ポップ・アートのさきがけ、没後初の大規模回顧展～

千葉市美術館では、企画展「大・タイガー立石展 POP-ART の魔術師」を開催しますので、お知らせします。

本展は、絵画、漫画、絵本、立体、イラストレーションとさまざまな領域を横断し、ポップ・アートのさきがけとして注目を集めたタイガー立石の22年ぶりとなる大規模な個展です。

開催にあたりまして、4月9日（金）15：00から記者の皆さまへの説明会を実施しますので、ぜひ取材にお越しください。

- 1 会期 令和3年4月10日（土）～7月4日（日）
※休館日 5月6日（木）、6月7日（月） 休室日 5月24日（月）
- 2 会場 千葉市美術館（中央区中央3-10-8）
- 3 主催 千葉市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

4 ポイント

◆過去最大規模の個展。約250点の作品・資料が一堂に！

絵画、漫画、絵本、立体、イラストレーションとさまざまな領域を横断し、ポップ・アートのさきがけとして注目を集めたタイガー立石（1941-1998立石紘一／立石大河亞）。本展は17歳の頃描いた作品から56歳で亡くなった遺作までを紹介。

約250点の作品・資料が一堂に会し、全国でも22年ぶりの過去最大規模の回顧展となります。

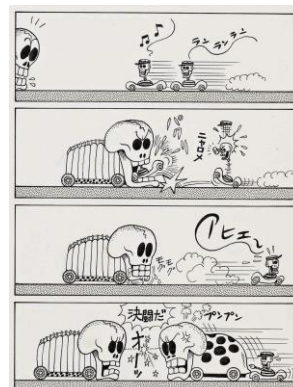


《富士のDNA》1992年 courtesy of ANOMALY

◆一世を風靡した「ニャロメ」など、ナンセンスな漫画世界にも注目

1965年頃から本格的に漫画を描きはじめ、『週刊アサヒ芸能』や『少年サンデー』で活躍していたタイガー立石。多くの子ども達が口にした「ニャロメ」という言葉もこの頃立石によって作られたものでした。

その後、漫画のコマ割りをそのまま絵画に描く独自の「コマ割り絵画」が誕生し、時空間さえもひっくり返るような立石独自の世界が現れました。本展では、さまざまな分野に影響を与えた漫画原画も多数展示されます。



「コンニャロ商会」より原画
1967年 courtesy of ANOMALY

- 5 観覧料 一般 1,200円(960円)、大学生 700円(560円)
※ 小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。
※ ()内は前売券、市内在住65歳以上の方の料金。
※ 前売券は、ローソンチケット、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて4月9日まで販売(4月10日以降は当日券販売)。
※ ナイトミュージアム割引：金・土曜日の18時以降は観覧料半額
- 6 関連イベント 展覧会に関連して、講演会やワークショップを開催。
- 7 その他 本展のチラシ別添

「大・タイガー立石展 POP-ARTの魔術師」披露説明会 開催概要

日時 4月9日(金) 15:00から
場所 千葉市美術館 8階展示室
内容 展覧会や主な展示作品の見所について担当学芸員からご説明いたします。

<本件に関するお問い合わせ先> 千葉市美術館 担当学芸員 藁科英也
広報担当 磯野 愛
〒260-0013 中央区中央3-10-8
電話 043-221-2311
FAX 043-221-2316
E-Mail isono@ccma-net.jp